

平成 25 年度体力向上取組事例

※ () 内はまるものに○を記入してください

学校名	鹿島市立古枝小学校
テーマ(事例の表題)	自らすすんで運動に取り組む環境作り
取組内容 ※主となるものを 1つ選んでください	<input type="checkbox"/> ア 体育、保健・体育授業 <input type="checkbox"/> イ 体育的行事 <input type="checkbox"/> ウ 放課後の活動 <input type="checkbox"/> エ 生活習慣 <input type="checkbox"/> オ 食習慣 <input type="checkbox"/> カ 地域との連携 <input type="checkbox"/> キ 放課後の活動、部活動 <input type="checkbox"/> ク その他 具体的に
●取組内容	
①実施目的	体育的行事や校時の見直し、地域人材の活用、縦割り班活動の回数増などを行い、すすんで運動に取り組む児童の育成
②実施内容	<p>(1) 水泳大会、運動会で、児童一人一人にめあてを持って取り組ませる。 プール開きの時に、各学級の水泳学習のめあてを発表しあうようにしている。授業では児童一人一人にめあてをもたせ、2学級ある学年では学年TT、単学級では級外が入る等、個に応じた指導が出来るように指導体制の工夫をした。運動会では、学級のめあてを話し合いで決めさせたり、個人のめあてを短冊に書かせたりして掲示するようにした。水泳大会、運動会とも児童、保護者、教師にはほぼ同じ項目のアンケートをとり、評価を行った。</p> <p>(2) 2校時と3校時間の休みを15分から20分に変更する。 5分の延長に伴い、縦割り班での運動遊び(さわやかタイム)の回数も、一昨年度は4回だったが、昨年度は9回、今年度は15回に増やした。朝の時間に行っていたさわやかタイムと、11月から12月にかけて行うマラソンタイムは、朝の時間から20分に延ばした授業間の時間に行うようにした。</p> <p>(3) 地域人材の活用と運動委員会による運動遊びの開催。 市の運動会や陸上大会、相撲大会に向けた練習会を行う際は、地域の一般の陸上部や相撲部の方に外部講師として指導に入ってもらうようにしている。マラソン大会では、地域の陸上部の方に伴走をお願いしている。また、運動委員会の企画運営による、自由参加型の運動遊びを、学期に1、2回程度、昼休みに行っている。</p>
③組織体制作り ※組織体制の概要 ※運営方法 等	<p>(1) 本校には3つのプロジェクトがあり、運動と特活に関する「元気プロジェクト」が中心となり体育的行事を行う。学級や個人でしっかりとめあてを持って臨ませよう職員に呼びかけている。アンケートは行事担当でとり、プロジェクトのメンバーで集計、分析を行った。</p> <p>(2) 年度当初に教務も含めて話し合いを行い、さわやかタイムの回数と日程を決定している。</p> <p>(3) 練習日が決定した段階で、教務主任が各種連盟と連絡をとり調整する。体育主任が運動委員会の担当になるようにしている。体育に関する環境作りも一緒に行うようにしている。</p>
④実施上で工夫したこと ※箇条書きで	<p>(1) ①プール開きの例やワークシート例を、事前に共有フォルダに提示する。(水泳指導) ②運動会実行委員便りなどで学級や個人のめあてを周知する。(運動会)</p> <p>(2) ①遊ぶ場所をローテーションすることで遊びのバリエーションを広げる。 ②教師も一緒に参加するが、企画運営は高学年にまかせる。</p> <p>(3) ①事前に指導内容や要望を伝える。(地域人材活用) ②低学年も楽しめる工夫をさせたり、結果を伝えたりする場を設ける。(運動委員会)</p>
⑤主な成果 ※箇条書きで	<p>(1) アンケートをとったことで、今後の取り組み方を再考する必要性が明らかになった。</p> <p>(2) 比較する数的材料が無いが、外で運動遊びを楽しむ児童が増えたように思われる。</p> <p>(3) 外部講師からは、技術や安全面での専門的なアドバイスがもらえる。また、運動に対する意欲の向上につながる。昼休みの運動委員会による運動遊びの企画も同様に行う。</p>
⑥配慮事項 ※箇条書きで	<p>(1) めあてを立てるだけに終わらない継続的な指導、および自己評価や相互評価が必要である。</p> <p>(2) 低学年から高学年までが楽しめる遊びの例の提示を高学年へ行う。</p> <p>(3) 外部講師との綿密な打ち合わせが必要である。また、安全面での配慮も必要である。</p>

○実践内容例



【低学年と高学年の合同プール開き】
5年生と楽しく遊ぶ2年生

学年の目標

一年 自分のがんばりが、がんばろう
二年 よろしくがんばろう、がんばろう
三年 本気で
四年 めんぱり、めんぱり、めんぱり
五年 めんぱり、めんぱり、めんぱり
六年 全校の人より早く
運動会では達せいできるよ
うにがんばりましょう。

【運動会の学年の目標】
運動会の実行委員会によるお便り・抜粋

運動会後のアンケート

Q①児：楽しかったか？

保：楽しんでたか？

教：楽しませることができたか？

Q②児：めあてをもつてのぞんだか？

保：めあてをもつてのぞんでたか？

教：めあてをもつてのぞませることはできたか？

Q③児：全力を出せたか？

保：全力を出そうと努力してたか？

教：全力を出せることはできたか？

Q④児：自分は伸びたと思うか？

保：子どもは成長したと思うか？

教：「自分は伸びた」と思わせることができたか？

Q⑤児：「この子はがんばっているな！」という友達はいたか？

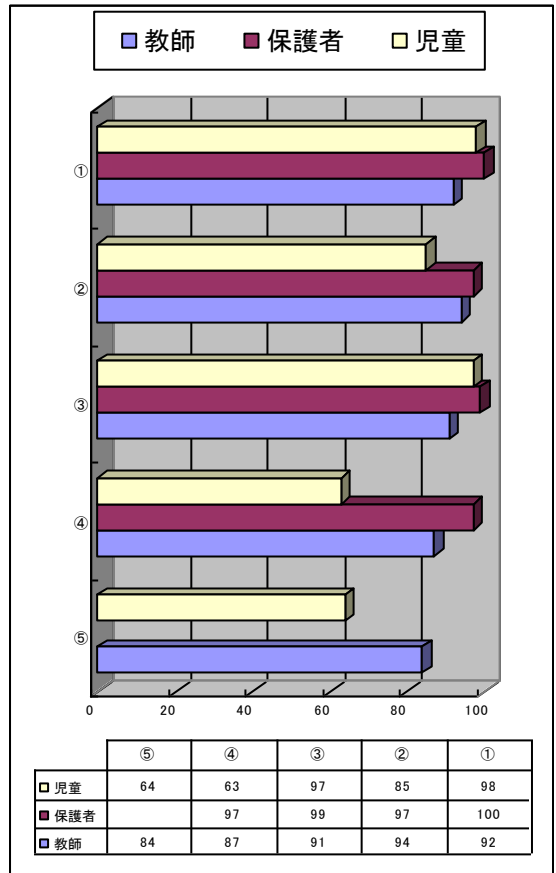
教：「子ども達が、がんばっているな！」と思ったか？

※三者に対し、言葉は若干違うが、同じ内容の質問をした。ただし、Q5は保護者には質問しなかったため、データは無し。

※数値は児童、保護者は%、教師は点数の平均

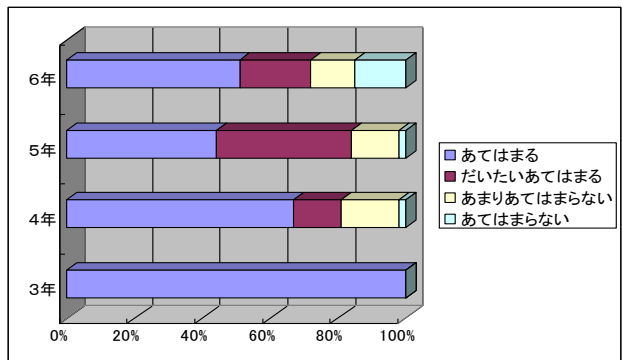
【運動会のアンケート】

教師や保護者が思っているほど、めあてを持つてのぞみ、運動会を通して成長したと児童が思っていないことがわかる。相互評価やがんばりを具体的に褒めることが必要。



【マラソン・駅伝大会】
地域の陸上部の選手に励まされながら

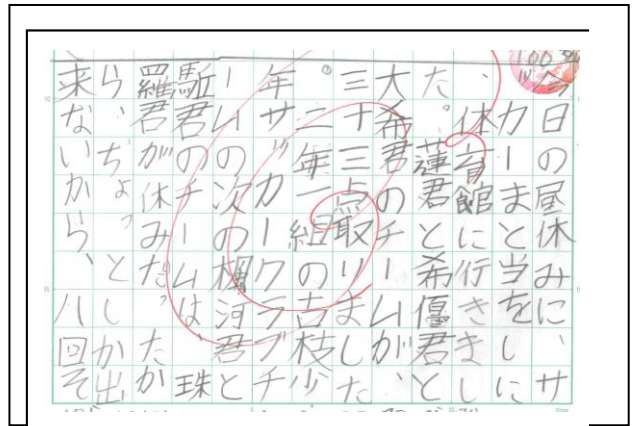
一日のうちで、朝、20分休み、昼休みのうち、どこかで外に出て身体を動かしている。



【学校評価・運動に関するアンケート】
高学年においても高い数値を出している



【運動委員会の「サッカーまど当てゲーム」】
参加した低学年の児童達の様子



【運動委員会の「サッカーまど当てゲーム」】
参加した2年生の日記の抜粋